



胃・胸部X線検診車やヘリカルCT検診車をはじめ、最新機器を搭載した検診車を6台所有。



ゆっくりと寛げるカフェテリア。



64列マルチスライスCTは、1回転で64枚の画像を撮影。細かく撮影することで、健診の精度を上げることができる。



### 八戸西健診プラザ

青森県八戸市長苗代字中坪74-1 TEL 0178-21-1717

健診時間 / 8:00~17:00、土曜 8:00~12:00

※完全予約制

休日 / 土曜午後、日曜・祝日



1階に婦人科の専用フロアを設置。



健診後の各種健康相談にも対応。



(公財)シルバーリハビリテーション協会理事長・  
メディカルコート八戸西病院  
副院長 田中由紀子医師



フロアでピンクリボン活動を告知し、啓蒙活動を展開。



サイズや色を選べる検査着。

「どこよりも、いのちを愛する東北へ」をスローガンに活動をしています。震災後、早い復興が求められているなか、東北各地で聞かれるのは、医師が足りないという住民の声です。私たちは、予防や医療活動のほかに、医師不足を解消するための働きかけも行っています(田中医師)

ふだんの食生活の見直し、病気の早期発見から治療への一貫したサポート体制の強化が、今後の地域医療と住民の健康維持につながっていくに違いない。

多様なニーズに応えるSGグループ  
少子高齢化により、医療・福祉介護を取り巻く環境が変化してきている。その中で、患者や利用者が安心して医療や介護サービスを受けやすい環境、QOL(生活の質)の高いライフスタイルが求められる。そのニーズに応えるため、メディカルコート八戸西病院を中心とした「シルバーグループ」を設立。これまで、医療・介護・教育・福祉事業の連携を、青森・岩手・宮城・福島各県で行ってきた。より、連携をはかっていくため、平成25年(2013)2月に「SG Group」へ名称を変更し、ロゴマークを新たに。

す」と田中医師。  
個人の状況に応じた健康診断、診断後のフォローアップ等も行われ安心だ。

## 日々の食生活を見直すきっかけとなる定期健診

早期発見が早期治療につながり、命を守ることになる。健診を受けやすいようにと、リニューアルをした「八戸西健診プラザ」。健康診断事業を通して、健康維持・増進のサポートに、さらに力を入れ始めた。



暮らしを見直す健診事業の重要性  
予防から医療へのトータルケアを行う(公財)シルバーリハビリテーション協会。その健診事業部門を担うのが、「八戸西健診プラザ」である。開設されたのが平成10年(1998)9月。企業の健康診断を中心に、個人の健康診断も行ってきた。

八戸西健康プラザを運営する(公財)シルバーリハビリテーション協会理事長で内科医の田中由紀子医師は、病気の早期発見と予防が大切という。「病気になる前から、健診を受けていけばと後悔される方を診てきました。ご本人の予防に対する意識も大切ですが、医療に携わる私たちも、健診を受けやすい環境をつくる必要性を感じました」

そのため、今年、八戸西健診プラザをリニューアルし、健診機能とサービスの向上を図った。待ち時間を短縮するために受付を広くするほか、婦人科専用のフロアを設け、女性が安心して受診できる環境にした。さらに、64列マルチスライスCTを導入し、より細かい検査を短時間でできるようにした。

「アンチエイジングドックも受け付けています。人間の老化は誰もが経験するもの。今の身体の状態を知りたい。身体の老化度を知りたいという方におすすめて。血管、骨、ホルモン、筋肉、神経を調べると、どこが自分の弱点なのか分かります。これは、生活習慣病を予防することにもつながります。」